

平成 23 年度 木育マイスター育成研修 委託業務

業 務 実 施 報 告 書

も く じ

| | |
|--------------|---------|
| ● 事業概要 | -----2 |
| ● 事業スケジュール | -----3 |
| ● プログラムの作成 | |
| プログラム作成 | -----4 |
| 研修日程の設定 | -----4 |
| 現地情報の収集 | -----7 |
| 受講生の募集と選定方法 | -----7 |
| ● 研修会の実施 | |
| 札幌会場 | -----8 |
| 旭川会場 | -----12 |
| ● O J T の実施 | -----16 |
| ● まとめ | -----20 |
| ● 添付資料 | -----22 |
| ①広報チラシ | |
| ②OJT 自己評価シート | |
| ③アンケート集計 | |



事業概要

当事業は、「木育」の理念を十分に理解し、民間における「木育」活動の企画立案や全体的なコーディネートができ、地域において指導的な役割を果たすことができる人材を育成することを目的に、木育マイスター育成研修を行うものである。

木育マイスター育成研修のカリキュラムは6つに分かれており、①木育の理念、②森づくりの仕事や樹木などの基礎知識、③暮らしと産業の関わり、④人の成長過程における木の存在や癒し効果、⑤木育プログラムにおける伝える技術、⑥木育プログラムの考え方と企画の仕方である。

札幌と旭川を会場とし、各会場で1泊2日の講座を前半(8月)と後半(10月)の2回行った。OJTは、前半と後半の講座の間(9月上旬から11月中旬)に行った。

当カリキュラムを修了すると、北海道より「木育マイスター」として認定され、木育に関する活動機会には指導者として活躍することが期待されている。平成23年度の第2期生として37名の木育マイスターが誕生した。

・本事業における業務

1)受講者の募集

道内の木育の実践者や木育関連団体への広報を行う。

メディアリリースなどで広く一般からも参加者を募る。

2)研修会の開催

「木育達人入門」をテキストとし、室内講義と実習においてテキスト内容を全て履修できるカリキュラム設定を行う。

札幌会場と旭川会場で行う。

3)OJT研修の実施

室内講義や実習で習得した内容を実践するためのOJTを実施する。



事業スケジュール

事業スケジュール

北海道と当法人で打ち合わせを重ねながら事業の枠組みを作った。昨年の講座の反省点を踏まえながら、よりよい研修にするよう講師陣の意見も取り入れて、カリキュラムの詳細を再検討した。会場となる場所の下見と関係者との打ち合わせを綿密に行い、その地域の特徴を活用した研修プログラムづくりを行った。

| | |
|------------|-------------------------------|
| 6月中～下旬 | 講師陣と打合せ、研修日程、会場等決定 |
| 7月15日 | 受講生募集の広報開始 |
| 8月5日 | 応募締切・選定 |
| 7月中旬～8月中旬 | 第1回講座関係団体と打合せ、OJT受入れ団体との調整 |
| 8月21日-22日 | 第1回札幌会場講座 |
| 8月28日-29日 | 第1回旭川会場講座 |
| 9月上旬～10月中旬 | 第2回講座関係団体・講師と打合せ、OJT受入れ団体との調整 |
| 9月7日 | OJT第1回目実施 |
| 10月23日-24日 | 第2回旭川会場講座 |
| 10月30日-31日 | 第2回札幌会場講座 |
| 11月18日 | OJT最終回実施 |



プログラムの作成

プログラム作成

テキスト「木育達人入門」に基づき、プログラムはテキストの章立てに合わせ、第1章から第6章の内容を2日間×2回の全4日間と、OJTを一回以上受講することとした。当プログラムは、体験学習法を取り入れ、①まずはやってみる、②なぜそうなのかを考える、③次にどうするかを考えるという学びの循環過程を意識した。

昨年度研修のアンケート結果などを踏まえ、よりわかりやすく実践的なカリキュラムになるよう、講師の追加、カリキュラム順の入れ替え、内容の検討を行い、プログラムを作成した。

研修日程の設定

今年度は野外でも活動しやすい、夏・秋の季節に研修を行うこととし、日程を設定した。平日勤務の方も土日勤務の方も参加しやすいよう、日曜・月曜の研修とした。

札幌

◆第1回目 2011/8/21（日）～22（月）

【8/21】

| 時間 | 章 | カリキュラム | 講師 | 内容 | 時間 | 会場 |
|-----------------|-----|-----------------------------|-----------------|--------------------------|------|--------------------------|
| 9:30 | | 開会式 | | | | 札幌市 旭山記念 公園 森の家 |
| 10:00～ 12:30 | 1章 | 木育の理念 | 煙山 泰子 | 木育が生まれた背景と 現在の位置づけ | 2.5H | |
| 12:30 | | 昼食 | | | | |
| 13:30～ 15:00 | 5章1 | 木はつながりのキーワード ～プログラムの伝え方～ | 宮本 英樹 | 体験から概念へと つなげていく学習法 | 1.5H | |
| 15:00～ 17:00 | 4章 | 木と生きる ～人の成長と木の関係～ | 長谷川 敦子 斉藤 千代 | 子供の発達の特性と 過程、人を癒す木の働き | 2H | |

【8/22】

| 時間 | 章 | カリキュラム | 講師 | 内容 | 時間 | 会場 |
|-----------------|-----------|------------------------------|--------------|-----------------------|------|------------|
| 9:00～ 11:20 | 2章 | 木とふれあい、木に学ぶ | 三木 昇 日月 伸 | 森林の定義、 北海道の森林の特徴 | 2.5H | むかわ町 穂別 |
| 11:20～ 12:30 | 3章 1-2 | 木と生きる ～暮らしと産業～ | 三木 昇 日月 伸 | 生活の中の木、 木の道具 | 1H | |
| 12:30 | | 昼食 | | | | |
| 13:00～ 17:30 | 2章 3章 | 木とふれあい、木に学ぶ 木と生きる～暮らしと産業～ | 日月 伸 | 木材の構造と性質 林業・木材産業の今 | 4.5H | |

◆第2回目 2011/10/30（日）～31（月）

【10/30】

| 時間 | 章 | カリキュラム | 講師 | 内容 | 時間 | 会場 |
|-----------------|----|-------------------|-----------------|------------------|------|--------------------|
| 13:00～ 14:30 | 3章 | 木と生きる ～暮らしと産業～ | 西川 栄明 | 生活の中の木、 木の道具 | 1.5H | 登別市 ふいねすと 鉾山 |
| 14:30～ 15:30 | 3章 | 木と生きる ～暮らしと産業～ | モモンガくらぶ 遠藤 潤 | ふいねすと鉾山の 取り組み | 1.5H | |
| 15:30～ 17:30 | 3章 | 木と生きる ～暮らしと産業～ | ひげ工房 | 木工体験 | 2H | |

【10/31】

| 時間 | 章 | カリキュラム | 講師 | 内容 | 時間 | 会場 |
|-----------------|-----------|-----------------------------|-------|----------------------|----|--------------------|
| 9:00～ 11:00 | 5章 2-3 | 木はつながりのキーワード ～プログラムの伝え方～ | 宮本 英樹 | 伝える技術 | 2H | 登別市 ふいねすと 鉾山 |
| 11:00～ 12:00 | 6章 | 木はつながりのキーワード ～プログラムの作り方～ | 宮本 英樹 | プログラム作りで 大切にしたいこと | 1H | |
| 12:00 | | 昼食 | | | | |
| 13:00～ 17:00 | 6章 | 木はつながりのキーワード ～プログラムの作り方～ | 宮本 英樹 | プログラム作りの基礎、 模擬演習 | 4H | |

旭川

◆第1回目 2011/8/28（日）～8/29（月）

【8/28】

| 時間 | 章 | カリキュラム | 講師 | 内容 | 時間 | 会場 |
|-----------------|-----|----------------------|-----------------|--------------------------|------|---------------------|
| 9:30 | | 開会式 | | | | 東川町 キトウシ 森林公園 |
| 10:00～ 12:30 | 1章 | 木育の理念 | 煙山 泰子 | 木育が生まれた背景と 現在の位置づけ | 2.5H | |
| 12:30 | | 昼食 | | | | |
| 13:30～ 15:30 | 2章3 | 木とふれあい、 木に学ぶ | 山本 牧 | 森づくりの仕事 | 2H | |
| 15:30～ 17:00 | 4章 | 木と生きる ～人の成長と木の関係～ | 長谷川 敦子 大和 正枝 | 子供の発達の特性と 過程、人を癒す木の働き | 1.5H | |

【8/29】

| 時間 | 章 | カリキュラム | 講師 | 内容 | 時間 | 会場 |
|-----------------|----------|------------------------------|---------------|---|------|---------------------|
| 8:30～ 12:30 | 2章 | 木とふれあい、木に学ぶ | 佐藤 孝弘 三木 昇 | 森林の定義、 北海道の森林の特徴 | 4H | 東川町 キトウシ 森林公園 |
| 12:30 | | 昼食 | | | | |
| 13:00～ 18:00 | 2章 3章 | 木とふれあい、木に学ぶ 木と生きる～暮らしと産業～ | 西川 栄明 | 生活の中の木 木の道具 木材の構造と性質 林業・木材産業の今 | 4.5H | 東川町・ 旭川市内 |

◆第2回目 2011/10/23（日）～24（月）

【10/23】

| 時間 | 章 | カリキュラム | 講師 | 内容 | 時間 | 会場 |
|-----------------|----|-----------------------------|----------------|--------------------|----|-------------|
| 13:00～ 15:00 | 5章 | 木はつながりのキーワード ～プログラムの伝え方～ | 宮本 英樹 | 体験学習法の理解、 伝える技術 | 2H | 下川町 五味温泉 |
| 15:00～ 17:00 | 3章 | 木と生きる ～暮らしと産業～ | NPO 法人 森の生活 | 林業・木材産業の今 | 2H | 下川町 フレペ |

【10/24】

| 時間 | 章 | カリキュラム | 講師 | 内容 | 時間 | 会場 |
|-----------------|----|-----------------------------|-------------|----------------------|----|-------------|
| 9:00～ 11:00 | 3章 | 木と生きる ～暮らしと産業～ | 下川町 森林組合 | 林業・木材産業の今 | 2H | 下川町内 |
| 11:00～ 12:00 | 6章 | 木はつながりのキーワード ～プログラムの作り方～ | 宮本 英樹 | プログラム作りで 大切にしたいこと | 1H | 下川町 ヨックル |
| 12:00 | | 昼食 | | | | |
| 13:00～ 17:00 | 6章 | 木はつながりのキーワード ～プログラムの作り方～ | 宮本 英樹 | プログラム作りの基礎、 模擬演習 | 4H | |

現地情報の収集

現地情報の収集は木育ファミリーのネットワークや、昨年度研修の受講生である木育マイスターに協力してもらい、行った。研修会場であるむかわ町穂別地区では木育マイスターの日月氏、下川町ではNPO 法人森の生活、登別市ではふおれすと鉾山の職員の方に担当窓口として協力してもらった。

札幌会場は、旭山記念公園森の家、むかわ町穂別地区の会場・工場等、また、登別市ネイチャーセンターふおれすと鉾山を管理するNPO 法人モモンガくらぶを訪ね、打ち合わせを行い、現地を下見した。

旭川会場は、キトウシ森林公園、下川町で活動するNPO 法人森の生活を訪ね、打ち合わせと下見を行った。

下見の際、現地の自然資源、文化資源、人的資源を把握し、研修会を実施する際の素材の整理と危険要因の有無を確認した。

受講生の募集と選定方法

受講生の募集方法は、広く一般に公募した。北海道新聞へのメディアリリース、北海道と当法人のHPへの掲載、北海道内の木育関係施設への募集チラシの配布を行った。また、「木育ファミリーメーリングリスト」や「わくわく木育通信」など木育関係者に対しての情報提供を行った。定員 30 名に対して 39 名の応募があった。そこで定員を 39 名に増やし、希望者全員が受講できるようにした。



研修会の実施

札幌会場:第1回目 平成23年8月21日 8月22日
:第2回目 平成23年10月30日 10月31日

◆第1回目 2011/8/21(日)～22(月) 受講者数:20名

1日目(8/21) 札幌市 旭山記念公園 森の家

9:30 開会式

10:00 木育の理念(KEM工房 煙山泰子)

木育の理念を理解することを目的に、木育や木育マイスターの目指すものや木育事例を紹介した。アイスブレイクを兼ねて、参加者が各自の木の思い出の品について発表し、自分と木のつながりを再認識した。木で作られた様々な道具・おもちゃや、「木育の玉手箱」を使い、五感の重要性を体験し、木育のイメージを広げた。



13:30 体験学習の理解

(NPO法人ねおす 宮本英樹)

森林と木材がメビウスの輪のようになっていることや、木育マイスターはそれらをつなぐ役割をすることを確認した。また、体験を通して概念を理解する教育手法を学ぶことを目的に、札幌市旭山記念公園の樹木を活用して、体験学習法のアクティビティを体験した。



15:00 木と生きる～人の成長と木の関係～

(大谷第二幼稚園元園長 斉藤千代)

「子どもの発達の特徴と過程」と「木育の感性と人を癒す木の働き」を理解するために、大谷第二幼稚園での取り組みを紹介した。子どもを自然の中で育てることによって、命の大切さなどを伝えたいという目的や、その取り組みが子ども達に与える影響について学んだ。



16:00 木と生きる～人の成長と木の関係～（NPO法人北海道子育て支援ワーカーズ 長谷川敦子）
「子どもの発達の特徴と過程」と「木育の感性と人を癒す木の働き」を理解するために、子どもの成長過程に関する基礎知識の講義を受け、発達段階に合わせたおもちゃを提供する重要性を学んだ。また、木のおもちゃとプラスチックのおもちゃを遊び比べることで、木の持つ特性を体感した。



17:00 終了

2日目（8/22）むかわ町穂別地区 地球体験館アースギャラリー、穂別道民の森、中村記念館、博物館、むかわ町町有林、製材工場、ペレット工場、穂別町民センター

9:00 木とふれあい木に学ぶ（北ノ森自然伝習所
三木昇、むかわ町 日月伸）

森林に関する基礎知識を身につけるために、北海道の森林の特徴に関する講座を地球体験館アースギャラリーで行った。また、穂別道民の森で樹木観察を行い様々な樹種の特徴や、ガイドする際の注意点・心得を学んだ。



11:20 木とふれあい、木に学ぶ（北ノ森自然伝習所
三木昇、むかわ町 日月伸）

木材製品の歴史や特徴について理解することを目的に、中村記念館や博物館所有の道具などを見学し、むかわ町穂別地区の林業の歴史について学んだ。中村記念館では、建物が地域の広葉樹でたてた住居（復元）であることや、家屋の構造、家具などについて説明を受けた。また、博物館所有の昔の林業の道具や馬車の道具などについても説明を受けた。



12:30 昼食

13:00 木とふれあい木に学ぶ (むかわ町 日月伸)

森づくりの仕事や森の木が木材になる過程を理解するために、各現場を見学した。町有林の伐採現場では、実際に行われている伐採の様子を見学し、別の町有林ではカラマツの間伐体験を行った。その後、森林組合の製材工場で、伐採した木が製材される工程を見学した。また、ペレット工場でペレットの製造過程を、穂別町民センターではそのペレットが実際に使われている様子を見学し、むかわ町が町内で木質ペレットの製造と利活用の取り組みを進めていることを学んだ。



17:30 終了

◆第2回目 2011/10/30 (日) ~31 (月) 受講者数：21名

1日目 (10/30) 登別市ネイチャーセンター ふおれすと鉾山

13:00 木と生きる～暮らしと産業～

(ノンフィクションライター 西川栄明)

木材製品の歴史や特徴について理解することを目的に、木の道具、木の文化や習慣などの歴史的背景についてスライドを見ながら学んだ。木の道具の実物や木材見本などを展示し、それらに実際に触れることで、より実感を伴った学びとなった。



14:30 木と生きる～暮らしと産業～

(NPO 法人モモンガくらぶ 遠藤潤)

森林整備の手法、取り組みを理解することを目的に、市民による森づくりの実例として、ふおれすと鉾山での取り組みについて説明を受け、施設を見学した。多くの市民の方々に、いかに自主的なボランティアとして森づくりや施設整備に関わってもらっているかについて学んだ。



15:30 木と生きる～暮らしと産業～（ひげ工房）

木材の循環を理解し、その最後の過程である製品になるところを学ぶために、受講生の技術レベルに合わせた木工体験を行った。複雑な木のパズル作り、木のフォーク作り、木のバターナイフ作り、簡単な木のパズル作りの4グループに分かれ、作業を行った。木工体験を運営する場合の、マネジメント手法を学ぶこともできた。



17:30 終了

2日目（10/31）登別市ネイチャーセンター ふおれすと鉱山

9:00 木はつながりのキーワード～プログラムの

伝え方～（NPO法人ねおす 宮本英樹）

より効果的な伝え方や指導法を身に着けるために、もみじの葉を使ったプレゼンテーションの体験を通して「伝授型」「双方向」「参加型」の伝える手法があることを学んだ。また、受講生一人一人のOJTの体験を全体で共有し、共通する重要なキーワードに着目したことで、個人の体験を踏まえた学びの促進ができた。



11:00 木はつながりのキーワード～プログラムの

作り方～（NPO法人ねおす 宮本英樹）

木育プログラムを作成できるようになることを目的に、木育プログラムを構成する活動とその構成に関する知識、企画づくりの基礎（資源調査、対象者分析、コンセプトづくり）を学んだ。その後、受講生自身が現在行っている活動等に関連して、取り組みたいテーマを提案してもらい、そのテーマについてグループワークにより4つのプログラム企画・発表した。最後は各自の「木育宣言」や感想をひとりひとりが読み上げ、全4日間の研修のまとめとした。



17:00 終了

旭川会場:第1回目 平成23年8月28日 8月29日
:第2回目 平成23年10月23日 10月24日

◆第1回目 2011/8/28(日)～29(月) 受講者数:18名

1日目(8/28) 東川町 キトウシ森林公園家族旅行村

9:30 開会式

10:00 木育の理念(KEM工房 煙山泰子)

木育の理念を理解することを目的に、木育や木育マイスターの目指すものや木育事例を紹介した。アイスブレイクを兼ねて、参加者が各自の木の思い出の品について発表し、自分と木のつながりを再認識した。木で作られた様々な道具・おもちゃや、「木育の玉手箱」を使い、五感の重要性を体験し、木育のイメージを広げた。



13:30 木とふれあい、木に学ぶ

(NPO 法人森林再生ネットワーク 山本牧)

森づくりの仕事を理解し、実際に体験してもらうことを目的に、キトウシ森林公園内で間伐体験を行った。どういう森にしていくかというビジョンを持って間伐すること、「森・木を読む」ことの重要性を認識した。また、チェーンソー使用時の注意点も学び、実際に木を切る体験をした。



15:30 木と生きる～人の成長と木との関係～

(NPO 法人日本グッド・トイ委員会 大和正枝)

「子どもの発達の特徴と過程」と「木育の感性と人を癒す木の働き」を理解するために、赤ちゃん木育広場・赤ちゃん木育寺子屋の取り組みを紹介した。また、林野庁補助事業である木材利用によるグリーンコーポレート対策事業についての説明を受けた。



16:00 木と生きる～人の成長と木の関係～（NPO

法人北海道子育て支援ワーカーズ 長谷川敦子）

「子どもの発達の特徴と過程」と「木育の感性と人を癒す木の働き」を理解するために、子どもの成長過程に関する基礎知識の講義を受け、発達段階に合わせたおもちゃを提供する重要性を学んだ。また、木のおもちゃとプラスチックのおもちゃを遊び比べることで、木の持つ特性を体感した。



17:00 終了

2日目（8/29）東川町キトウシ森林公園家族旅行村、昭和木材株式会社、株式会社匠工芸、鈴木木材

08:30 木とふれあい木に学ぶ（北海道立総合研究機構

林業試験場森林環境部研究主幹 佐藤孝弘）

森林に関する基礎的知識を身につけるために、北海道の森林の特徴に関する講座をキトウシ森林公園家族旅行村研修室で行った。葉っぱの特徴から樹種を見分ける方法も学んだ。また、ゲームで遊ぶような感覚で木を学べる各種教材について紹介された。



10:30 木とふれあい木に学ぶ（北ノ森自然伝習所

三木昇、北海道立総合研究機構林業試験場
森林環境部研究主幹 佐藤孝弘）

木、森に関する基礎的な知識を身につけるため、キトウシ森林公園内の森で樹木観察を行い、様々な樹種の特徴や、ガイドする際の注意点・心得を学んだ。



12:30 昼食

13:00 木と生きる～暮らしと産業～

(ノンフィクションライター 西川栄明)

木材製品の歴史や特徴について理解することを目的に、木の道具、木の文化や習慣などの歴史的背景についてスライドを見ながら学んだ。木の道具の実物や木材見本などを展示し、それらに実際に触れることで、より実感を伴った学びとなった。



14:00 木と生きる～暮らしと産業～

(ノンフィクションライター 西川栄明)

森の木が木材になる過程や、木材が製品になる過程を理解するために、各現場を見学した。昭和木材株式会社では製材現場を、株式会社匠工芸では材から家具などを制作している現場を見学した。最後に鈴木木材で実際に自分で木に触れて作品を作るということを体験し、森から切り出された木が製品になるまでの流れを、実体験として学ぶことができた。



18:00 終了

◆第2回目 2011/10/23 (日)～24 (月) 受講者数：16名

1日目 (10/23) 下川町五味温泉、フレペ

13:00 木はつながりのキーワード～プログラムの

伝え方～ (NPO法人ねおす 宮本英樹)

より効果的な伝え方や指導法を身につけるために、五味温泉研修室で講義を行った。「伝授型」「双方向」「参加型」の伝える手法があること、伝える流れ、リズムが大切であることを学んだ。また、受講生一人一人のOJTの体験を全体で共有し、共通する重要なキーワードに着目したことで、個人の体験を踏まえた学びの促進ができた。



14:30 木と生きる～暮らしと産業～

(NPO法人森の生活 田邊真理恵)

木材資源の循環利用サイクルを理解することを目的として、トドマツオイルの製造過程を学んだ。五味温泉近くの森でトドマツの枝を採取し、その枝を蒸留してトドマツのエッセンシャルオイルを作成した。また、下川町の、町全体で計画的に林業に取り組んでいることや、ゼロ・エミッションの取り組み、森林認証制度についても学んだ。



17:00 終了

2日目 (10/24) 下川町森林組合 カラマツ伐採現場、製炭工場、製材所、ヨックル

9:00 木と生きる～暮らしと産業～ (下川町森林組合)

森の木が木材になる過程や、木材が製品になる過程を理解するために、各現場を見学した。カラマツ伐採現場では実際に行われている伐採の様子を、製炭工場、製材所では伐採した木が炭に加工されたり、製材されたり、オイルを抽出したりと、様々な用途に利用されている工程を見学し、下川町における林産業の取り組みについてさらに理解を深めた。



11:00 木はつながりのキーワード～プログラムの

作り方～ (NPO法人ねおす 宮本英樹)

木育プログラムを作成できるようになることを目的に、木育プログラムを構成する活動とその構成に関する知識を学んだ。企画づくりの基礎(資源調査、対象者分析、コンセプトづくり)を学んだうえで、グループワークにより4つのプログラム企画をした。最後は各自の「木育宣言」や感想をひとりひとりが読み上げ、全4日間の研修のまとめとした。



17:00 終了

OJTの実施

OJTは第1回研修と第2回研修の間に実施することで、その経験を、後半の研修に活かせるようにした。道央地域（旭川市、札幌市近辺など）、及び道南地域で計13のOJTを実施した。OJT実施に当たっては、受け入れ団体と綿密な調整を行い、研修生の学びに重点を置いたサポートを依頼した。

OJT当日は、プログラムの事前準備や打合せ、振り返りまで参加してもらい、イベントを運営するマネジメント手法や実際のプログラム手法、注意点などを体験的に学んだ。OJT終了後は、研修生に自己評価シートに自分の役割、評価・反省点、感想などを記入してもらうことで、OJTの内容を振り返り、今後の自身の活動に活かせるようにした。

| 番号 | 日程 | 講師 | 場所 | 内容 | 受講人数 (延べ人数) |
|----|---------------------|-------------------|------|---|----------------|
| | 9/18(日) | NPO 法人 ねおす | 東川町 | 東川炭焼きプログラムで補助をする | 2名 |
| | 9/23(金・祝) | NPO 法人 ねおす | 東川町 | ねおすの小学生～中学生向け 木育プログラムで補助をする | 2名 |
| | 10/8(土) | NPO 法人 ねおす | 東川町 | ねおすの未就学児向け 木育プログラムで補助をする | 1名 |
| | 10/23(日) | NPO 法人 ねおす | 東川町 | 東川炭焼きプログラムで補助をする | 1名 |
| | 10/29(土) | NPO 法人 ねおす | 東川町 | ねおすの小学生～中学生向け 木育プログラムで補助をする | 2名 |
| | 9/30(金)～ 10/2(日) | NPO 法人 モモンガくらぶ | 登別市 | 登別市ネイチャーセンター「ふおれすと鉱山」の 木育プログラムで補助をする(森のあそびば) | 3名 |
| | 10/1(土) | 木育マイスター 中村 裕 | 千歳市 | 大人向けの木育プログラム(伊藤組千歳山林で の植物調査、樹木標本作り)の補助をする | 6名 |
| | 10/22(土) | 木育マイスター 木村 恵巳 | 札幌市 | 「道民森づくりネットワークの集い」で、 木育プログラムの補助をする | 6名 |
| | 11/3(木・祝) | 煙山 泰子 手稲さと川探検隊 | 石狩市 | 石狩市子育て支援課主催のイベントで、 木育プログラムの補助をする | 5名 |
| | 毎週水曜日 | NPO 法人 ねおす | 札幌市 | 小学生のアフタースクールで 木育プログラムの補助をする | 13名 |
| | 毎週水曜日 | NPO 法人 ねおす | 苫小牧市 | 苫小牧市内の幼稚園で 木育プログラムの補助をする | 4名 |
| | 10/8(土) | 木育マイスター 西埜 将世 | 七飯町 | 昨年度の木育マイスター修了生が行う イベントで、木育プログラムの補助をする | 2名 |
| | 11/18(金) | 木育マイスター 鈴木 正樹 | 森町 | 昨年度の木育マイスター修了生が行う イベントで、木育プログラムの補助をする | 1名 |

①9/18（日）8：30～14：00

講師：NPO 法人ねおす高野克也

場所：東川町キトウシ森林公園

プログラム対象者：大人7名

OJT 受講者：鍛冶博光、多田昇

内容：大人対象のプログラム（ドラム缶を利用した炭窯、ピザ窯づくり）



②9/23（金・祝）8：30～16：30

講師：NPO 法人ねおす高野克也

場所：東川町キトウシ森林公園

プログラム対象者：子ども11名

OJT 受講者：藤田博義、渡部実弓

内容：小～中学生対象のプログラム（桜で染めものづくり、飾り炭作りほか）



③10/8（土）9：30～13：00

講師：NPO 法人ねおす小林峻

場所：東川町キトウシ森林公園

プログラム対象者：子ども3名、大人3名

OJT 受講生：渡部実弓

内容：未就学児の親子対象のプログラム（森の中探検、火おこしほか）



④10/23（日）10：00～14：00

講師：NPO 法人ねおす高野克也

場所：東川町キトウシ森林公園

プログラム対象者：大人15名

OJT 受講生：仙石真理子

内容：大人対象のプログラム（炭出し作業ほか）



⑤10/29（土）8：30～16：30

講師：NPO 法人ねおす高野克也

場所：東川町キトウシ森林公園

プログラム対象者：子ども 14 名

0JT 受講生：宇山夕香里、長岡美恵子

内容：小～中学生対象のプログラム（タネの模型づくり、森でアート作品作り）



⑥9/30（金）～10/2（日）8：30～18：00

講師：NPO 法人モモンガくらぶ、伊藤英

場所：登別市ふおれすと鉦山

プログラム対象者：子ども 303 名、大人 302 名

0JT 受講生：兒玉泰治、鈴木隆、松村基子

内容：子ども～大人向けのプログラム（ふおれすと鉦山のイベント「木と森のあそびば」）



⑦10/1（土）9：00～15：00

講師：木育マイスター中村裕

場所：千歳市伊藤組千歳山林

プログラム対象者：大人 8 名

0JT 受講生：門田宜久、櫻井善文、佐藤秀靖、高野克也、玉利祐司、辻礼次郎

内容：大人向けのプログラム（伊藤組土建（株）の山林で、植物相調査、植物標本づくり）



⑧10/22（土）9：00～16：00

講師：木育マイスター河岸さおり・木村恵巳

場所：札幌市旧道庁赤れんが前広場

プログラム対象者：子ども多数、大人多数

0JT 受講生：會田テルミ、阿部侑之甫、遠藤哲則、清澤光秋、高橋秀明、西野澄子

内容：子ども～大人向けのプログラム（マイ箸作り体験、ホオの実茶試飲）



⑨11/3（木・祝）8：45～18：00

講師：煙山泰子、手稲さと川探検隊

場所：石狩市総合保健センターりんくる

プログラム対象者：子ども12名、大人10名

OJT受講生：門田宜久、行天順子、西野澄子、
福島敬、山下泰範

内容：小学生の親子向けのプログラム（木育の玉手箱、
木の葉・タネ探しほか）



⑩毎週水曜日（9/7、9/14、9/21、9/28、10/5、10/12、
10/19、10/26、11/9）15：30～18：00

講師：村木昭彦、木育マイスター木村恵巳・源真紀

場所：札幌市コープさっぽろ西宮の沢店

プログラム対象者：子ども3名

OJT受講生：會田テルミ、今中建男、今村浩子、
大石拓人、小笠原誠、菊地三奈、
清澤光秋、兒玉泰治、笹森映里、
佐藤廉之、高橋裕、竹津美智子、
畠山拓也、

内容：子ども向けのプログラム（のこぎりで切る、
金づちで釘を打つほか）



⑪毎週水曜日（9/7、9/14、9/21、10/5）9：30～12：00、
13：00～17：00

講師：NPO法人ねおす上田融

場所：苫小牧市ひかりの国幼稚園

プログラム対象者：子ども20名程度

OJT受講生：會田テルミ、兒玉泰治、櫻井善文、
戸巻朋子

内容：幼稚園児向けのプログラム（幼稚園の課外
教室「森っこクラブ」。子どもと野外活動をする）



⑫10/8（土）10：00～17：00

講師：木育マイスター西埜将世、鈴木正樹、大橋祐介
場所：七飯町大沼ふるさとの森自然学校
プログラム対象者：子ども・大人合わせて150名程度
OJT受講生：戸巻朋子、丹羽敬介
内容：子ども～大人向けのプログラム（「木育フェスタ」というイベント。森のプレーパーク、木にお絵かき、イス・カトラリーづくりほか）



⑬11/18（金）10：00～12：00

講師：木育マイスター鈴木正樹
場所：森町株式会社ハルキ
プログラム対象者：子ども32名、大人6名
OJT受講生：戸巻朋子
内容：幼稚園児向けのプログラム（（株）ハルキで、材木の製材工程見学ほか）



まとめ

・受講人数について

平成23年度木育マイスター育成研修は、当初39名の申し込みがあり、全員受講できるよう定員を増やしたが、体調不良・怪我などにより辞退者が2名出たため、最終的に全ての研修カリキュラムを終了した人数は37名となった。

・会場について

今年度は、札幌・旭川の2会場で実施した。札幌・旭川近隣の、林業・木育の盛んな地域である、むかわ町穂別地区と、下川町にも会場を設定したことで、より現実感のある研修になったのではないかと考える。

・研修時期について

昨年度の研修実施後の会議で、「研修時期は、木に葉がついている時期だと特徴がわかりやすい。また冬に開催すると天候の影響で予定通り遂行できない可能性があるので無積雪期が望ましい」との提言があったため、今年度は第1回目を夏（8月）、第2回目を秋（10月）に実施した。

また、OJTは昨年同様1回目と2回目の間(9月～10月)に行うことを基本とし、OJTで経験したことを第2回目研修で活かせるようにしたことで、第2回目研修の際に受講生の理解がより深まったと思われる。

・カリキュラム・スケジュールについて

研修終了後に受講生から取ったアンケートによると、カリキュラムについては概ね満足を得られている。ただ、木育マイスターにとって不可欠な、「森林と木材がメビウスの輪のような関係である」という概念を理解してもらえよう、様々な分野の講義・実習・見学を盛り込んでいるため、どうしてもハードスケジュールになってしまい、受講生からは「もう少し時間に余裕があったら良かった」といった意見もいただいた。

・今後の木育について

昨年度から実施されている本研修であるが、昨年度は38名、今年度は37名の木育マイスターが誕生した。昨年度の受講生である木育マイスターは、木育マイスターメーリングリスト内で情報交換、意見交換を行うなどして、交流が進んでいる。また、今年度研修のOJTの受入先や、講師となっていたいたり、各人の地域・会社などで木育プログラムを行ったりと、それぞれの地域・立場で活躍中である。

今後、さらに北海道の木育の普及を推進していくためには、2年間の研修で誕生した木育マイスター同士のネットワークをより強固なものとし、協力しあって木育の普及に取り組んでいくことが必要である。また、木育マイスターのフォローアップも重要であると考えます。

本研修については、今年度の受講生から来年度以降もぜひ続けてほしいとの要望もあがっている。2年間で計75名の木育マイスターが誕生したが、道南・道東地域の木育マイスターは少ないといった地域的な偏りが発生している。北海道全地域で木育を推進していくには、今後も本研修を継続し、木育マイスターを全地域で育成することが望ましいと考える。